

第 50 回日本小児東洋医学会学術集会

プログラム・抄録集

子どもの漢方 ～未来への懸け橋～



- 会 期 令和 5 年 9 月 17 日（日）13 時～17 時
会 場 横浜市 崎陽軒本店 6 階会議室
〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島 2 丁目 13-12
当日の連絡先 TEL 070-6692-1862
開催方法 会場と Web のハイブリット開催
会 頭 齋藤 陽 はるの木こどもクリニック
主 催 一般社団法人 日本小児東洋医学会

第 50 回学術集會事務局
〒693-8501 出雲市塩冶町 89-1
島根大学小児科学教室内
TEL: 0853-20-2220, FAX: 0853-20-2215
Mail: jpoms@med.shimane-u.ac.jp
Hp: <https://onl.sc/RNS1VhA>

発表について

- 発表される方は、できるだけ事前にパワーポイントのファイルをメールでお送り下さい。
- 念のため、当日ファイルを USB フラッシュメモリーに保存してご持参ください。
 1. 送付期限：9/13（水）17 時まで
送付後 2 日以内に返事がない場合お問い合わせ下さい。
 2. 送付先：jpoms@med.shimane-u.ac.jp
 3. ファイルを当日ご持参される場合は、パワーポイントで作成したファイルを USB メモリーに保存してご持参ください。
 4. お預かりしたファイルは、学術集会終了後に責任を持って廃棄します。
 5. パワーポイント以外のソフトを使用される方は、PC をご持参ください。
 6. 動画を使用される方は、動作確認のとれた PC をご持参ください。
 7. Macintosh をご使用の方：PC とプロジェクター用のアダプターをご持参下さい。
念のため、USB メモリーに保存してご持参ください。

現地参加される方へ

- できる限り、事前参加登録をお願いします。
- 会場内では、手指衛生などのご協力をお願いします。
- ネームカードに所属・氏名を記入し、会場内では必ず着用して下さい。
- 個人情報保護のため、会場内での発表内容の録音、撮影は禁止します。

WEB 参加される方へ

- 事前参加登録をお願いします。追って、参加費納入方法、参加方法等、詳細をメールでお知らせします。
- 事前に Zoom ソフトのダウンロードなどを行ってください。学会の開始は 13 時からですが、当日の Zoom には 12 時 50 分より入室可能です。
入室した後に、名前の変更（お名前@所属）をお願いします。
例：竹谷健@島根大学小児科
- 参加者は**カメラ・マイクOFF**をお願いします。
- 演題へのご質問には、Zoom の「**チャット機能**」をご使用ください。座長により質問を読み上げさせていただきます。

事前参加登録（現地と WEB 共通）

以下の URL あるいは二次元バーコードからお願いします。

- 締め切り 2023 年 9 月 13 日(水)12 時まで
- 事前登録URL <https://forms.gle/w5bvzwpvwTWwB4L3A>



二次元コード

目次

ご挨拶

会頭挨拶 1

代表理事挨拶 2

学術集会プログラム 3

抄 録 5

一般演題

1. 2年間にわたる就寝前の微熱，手足のほてりに滋陰至宝湯が有効であった1例
2. 自閉スペクトラム症に対して湯液治療が奏功したきょうだい例
3. 小児漢方薬に関する使用実態調査（第一報）
4. 小児における漢方薬の副作用に関する文献的検索
5. 小児における COVID-19 感染症に対する漢方治療について

シンポジウム

子どもの漢方～過去・現在・未来 8

特別講演

漢方薬の抗不安・抗ストレス作用の作用機序

～加味帰脾湯を中心に～ 10

寄付・労務提供一覧 12

会頭挨拶



第 50 回日本小児東洋医学会学術集会 会頭 齋藤 陽 はるの木こどもクリニック 院長

このたび、2023年9月17日（日）に崎陽軒本店において、第50回日本小児東洋医学会学術集会を開催することになりました。第1回大会が昭和59年に開催され当時は年2回の開催でしたが、平成24年から年に1回となり、今回で節目の50回大会となります。

本学会は公益社団法人日本小児科学会の分科会として、小児東洋医学の学術振興、知識の普及と啓発を通じ、小児医療への貢献を目指しています。本学術集会において学会員相互の交流、情報交換、小児東洋医学分野の学術振興、人材育成、知識の普及、診療の質の向上に寄与できれば幸いです。

今回の学術集会のテーマを「子どもの漢方～未来への懸け橋～」といたしました。少子高齢化と言われて久しいですが、未来を築く子どもたちへ医療者として何ができるのか、何をしてあげたらいいのかを改めて考えないといけません。

医学の進歩により、新薬や外科的手技の向上などにより助かる子どもが増加しています。しかし、新しい薬でも思うように改善しない症状が非常に多いことも臨床経験を積んでいくにつれて実感します。集団生活や家庭が原因で心身を患った子どもたちを救ってあげられる医療も限られています。今後の医療においては診断できない病態への対応と予防接種などによる予防医学にも重点をおいて、子どもたちが生き生きと健やかに育ってもらうために、漢方がある懸け橋の一助になる学術集会にしたいと思っています。

当日は一般演題、シンポジウム、特別講演を含めた演題を予定しております。是非とも会場に足を運んで頂き活発な討論と会員相互の親睦、異国情緒あふれる港町横浜を楽しんでいただけたら幸いです。

代表理事挨拶



一般社団法人 日本小児東洋医学会代表理事
会長 山口 英明

今年の日本小児東洋医学会学術集会は記念すべき第 50 回大会で「子どもの漢方～未来への懸け橋～」をテーマに はるの木こどもクリニック・斎藤陽会長の下、崎陽軒本店（横浜市）で開催されます。昨年に続きハイブリッド形式の開催となり、皆様と直接顔を合わせ論議できる貴重な機会となりそうです。今回は砂川正隆先生から「漢方薬の抗不安・抗ストレス作用の作用機序」と題されたタイムリーな特別講演を頂きます。またシンポジウム「子どもの漢方～過去・現在・未来～」もまた 50 回を記念するに相応しいと言えます。さらに先般、会員の皆様にご協力を頂いたアンケートの結果もお知らせできそうです。その他、興味深い一般演題も含め皆様と共に楽しく拝聴したいと思います。

学術集会プログラム

12:00～13:00 運営委員会

13:00

開会の辞

会頭挨拶 はるの木こどもクリニック 齋藤 陽

13:05～14:05

一般演題【発表7分/質疑応答5分】

座長 つちうら東口クリニック 川嶋 浩一郎

 さかざきこどもクリニック 坂崎 弘美

1. 2年間にわたる就寝前の微熱，手足のほてりに滋陰至宝湯が有効であった1例
藤田医科大学小児外科
渡邊 俊介
2. 自閉スペクトラム症に対して湯液治療が奏功したきょうだい例
名鉄病院小児漢方内科・かけはし糖尿病甲状腺クリニック漢方内科
鈴木 水鳥
3. 小児漢方薬に関する使用実態調査（第一報）
島根大学医学部小児科
竹谷 健
4. 小児における漢方薬の副作用に関する文献的検索
森こどもクリニック
森 蘭子
5. 小児における COVID-19 感染症に対する漢方治療について
聖徳大学
宮川 三平

14:05～14:15

休憩

14:15～15:25

シンポジウム（新専門医制度 小児科領域講習 1 単位）

座長 豊川小児科内科医院 豊川 達紀

子どもの漢方～過去・現在・未来～

過去：新横浜母と子の病院、聖マリアンナ医科大学総合診療内科 崎山 武志

現在：はるの木こどもクリニック 齋藤 陽

未来：コンフォガーデンクリニック 田中 宜之

15:25～15:40

休憩

15:40～15:50

学会総会

15:50～16:00

小児東洋医学会のこれまでの歩みとこれから

日本小児東洋医学会代表理事・K こどもクリニック 山口 英明

16:00～17:00

特別講演（新専門医制度 小児科領域講習 1 単位）

座長 はるの木こどもクリニック 齋藤 陽

漢方薬の抗不安・抗ストレス作用の作用機序～加味帰脾湯を中心に～

昭和大学医学部生理学講座生体制御学部門教授 砂川正隆

17:00～17:05

閉会の辞

次期会頭挨拶 さかざきこどもクリニック 坂崎 弘美

一般演題

1. 2年間にわたる就寝前の微熱，手足のほてりに滋陰至宝湯が有効であった1例

渡邊俊介^{1), 2)}、青山重雄²⁾、河野透哉³⁾

¹⁾藤田医科大学小児外科、²⁾医療法人青雄会あおやまクリニック、³⁾藤田医科大学ばんだね病院小児科

症例は4歳女児。当院受診2年前から就寝前に微熱があり，手のひらや足の裏が暑くなるとのことで母親が心配になり近医受診した。近医受診で内分泌疾患を含め精査されるも異常は指摘されず，漢方治療を希望し受診されたため滋陰至宝湯を投薬したところ投薬4週間後には症状が消失した。滋陰至宝湯は体力が低下した人の慢性に経過する咳嗽に用いるとされている。しかし，その使用目標には多くの病態があり『万病回春』巻之六・婦人虚勞門収載などによれば，本剤には「陰液（津液）」を補う滋陰剤がふくまれており，滋養し，虚熱を冷まし，気を巡らせ，消化機能を高める滋陰清熱，理気健脾の方剤であるとされ咳嗽のみならず，肝気鬱結や陰虚の症状を改善させる効果がある。本症のように肝気鬱結に加え陰虚の症状が併存していた場合，本剤が有効である場合があると考えられた。

2. 自閉スペクトラム症に対して湯液治療が奏功したきょうだい例

鈴木水鳥

名鉄病院小児漢方内科・かけはし糖尿病甲状腺クリニック漢方内科

自閉スペクトラム症(ASD)に対する湯液（煎じ薬）を用いた報告は数少ない。そこで今回、ASD に対して湯液治療が奏功したきょうだい（9歳男児、4歳女児）例について報告する。兄は、7歳で ASD と診断され、メチルフェニデート塩酸塩を内服していた。易怒性や衝動性の改善が乏しく、大柴胡湯去大黃より開始。物に当たることや友人とのトラブルが続き、4ヶ月後より湯液（大柴胡湯去大黃加減）へ変更。その後、自分の気持ちをコントロールできることが増え、8ヶ月後の個人面談では「褒めることしかない」と言われた。妹は、3歳で ASD と診断。癩癩がひどく、黄連解毒湯合大柴胡湯より開始。1ヶ月後、癩癩が落ち着き、寝つきも良くなったが、1度癩癩を起こすと止まらない傾向があった。兄の変化を感じた家族の希望もあり、7ヶ月後より湯液（大柴胡湯去大黃合甘麦大棗湯加減）へ変更。13ヶ月後、兄も妹も症状が改善しエキス剤に戻した。しかし、きょうだい共に症状が再度悪化し、湯液に戻して治療を継続している。

3. 小児漢方薬に関する使用実態調査（第一報）

竹谷健、和田啓介

島根大学医学部小児科

【はじめに】小児科医の漢方に対する関心の高まりおよび漢方薬処方が増加がみられるが、小児領域の漢方薬の使用実態は明らかではない。【目的】小児漢方の現状を把握するために、アンケート調査を行った。【方法】日本小児東洋医学会・会員に対して、Google フォームを用いたオンラインでの無記名アンケート調査（2023年2月1日～3月31日）を行った。【結果】136人（回答率39%）から回答を得た。40歳代以上の診療所勤務の小児科医からの回答が多かった。漢方処方年数は10年から20年未満が最多（36%）であったが、1年から30年以上まで幅広かった。漢方処方に興味を持った経緯として、ご自身・近親者の服用経験（51.5%）、友人・同僚・先輩の勧め（41.9%）、本・雑誌・講演・ネット（40.4%）の3つが多数を占めていたが、大学での医学教育は優意に少なかった（10.3%）。主な学習方法として、本・雑誌・ネット（89.7%）、講演会・学会（88.2%）、地域の勉強会（55.1%）の順に多く、専門外来の陪席（22.8%）は優意に低かった。処方の根拠として、日本漢方的方法が74.4%と高かったが、病名による処方（42.9%）もみられた。【まとめ】今回のアンケート調査に回答した方の背景から、今後、医学教育および学会だけでなくSNSを用いた啓発教育活動が重要であると思われる。

4. 小児における漢方薬の副作用に関する文献的検索

森 蘭子

森こどもクリニック

0歳～18歳までの小児・青年期における漢方薬の副作用について検討した。医中誌Webで1993年～2023年の論文・学会発表記録を検索し、漢方薬の副作用と思われる71例（男36、女33、不明2）について検討した。年齢は1か月～18歳（平均8.0歳）、医中誌Webでの年齢区分により、23か月まで、2～5歳、6～12歳、13～18歳までがそれぞれ、11例、12例、31例、17例であった。副作用の内訳は、神経系5例、呼吸器系3例、消化器系11例、腎泌尿器系39例、内分泌系3例、皮膚疾患5例、その他5例。多かったのは、非感染性膀胱炎33例、薬剤性肝障害5例であった。原因となった方剤は22種類で、多かったのは、柴苓湯16例、柴朴湯11例、小柴胡湯8例、六君子湯5例であった。漢方薬投与の目的となった疾患は、気管支喘息、ネフローゼを含む慢性腎炎、アトピー性皮膚炎が多かった。副作用出現までの投与期間は1日～18年、DLSTは25例で実施され15例で陽性であった。13例は再投与で陽性だった。今回の検討では、副作用が回復しなかった例はなかった。

5. 小児における COVID-19 感染症に対する漢方治療について

宮川三平¹⁾、吉澤穰治²⁾

¹⁾聖徳大学 児童学科・保健センター、²⁾昭和大学豊洲病院 小児外科

小児の新型コロナウイルス（COVID-19）感染症は、年々低年齢化し、発熱、咽頭痛、けいれんなどの有症状者数は増加しています。また、小児の中等症・重症症例も、昨年 2022 年夏の感染拡大（第 7 波）より増加しております。こうした背景より、小児の新型コロナウイルス（COVID-19）感染症に対する適切な治療薬が求められております。しかしながら、軽症～中等症の経口治療に用いられるプロテアーゼ阻害剤であるエンシトレルビル（ゾコーバ錠[®]）は、12 歳未満の小児について適応がないなど小児の新型コロナウイルス（COVID-19）感染症治療薬は、極めて限られているのが現状です。こうした理由より古くから感染症治療に用いられている漢方に期待がもたれるわけですが、著者らは、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症に対する漢方治療について、主として文献研究を行いました。海外（2022 年 WHO での検討など）と日本国内（2020 年小川 恵子先生の論文など）の論文について、分析検討を予定しています。

シンポジウム（小児科領域講習 1 単位）

子どもの漢方～過去・現在・未来

小児に対する漢方治療を古典から振り返り（過去）、近年は漢方薬をどのような疾患に対してどのような治療を行っているのか（現在）、今後、医学全体が進歩していく中で、漢方薬の果たす役割（未来）について討論する。

崎山 武志（新横浜母と子の病院、聖マリアンナ医科大学総合診療内科）

小児漢方治療の古の記載は、日本で古代から伝わる医薬と処方を類聚した 808 年の大同類聚方、984 年の医心方、14 世紀の頓医抄・万安方にある。李朱医学を田代三喜に師事した曲直瀬道三が広め、遐齡小児方を著した。名古屋玄医は医方問余を著し、古方等の流派が派生した。明治時代に漢方医学は衰退したが、昭和になり復興し現在に至っており、その変遷を概説する。

略歴

1970 年	慈恵医科大学卒
1982 年	日本大学講師（小児科・駿河台日大病院）
1983～1984 年	アメリカ合衆国 NIH・Visiting Scientist
1988～1989 年	Mt Sinai 病院 Visiting Professor
1992～2013 年	漢方；山田光胤に師事
1995～2005 年	聖マリアンナ医科大学 病理学教室助教授
2002 年～現在	聖マリアンナ医科大学 総合診療内科 漢方外来責任者
2005 年～現在	聖マリアンナ医科大学 総合診療内科 客員教授

資格 日本小児科学会認定専門医、日本東洋医学会専門医・指導医

学会 一般社団法人日本東洋医学会 元理事・現名誉会員
一般社団法人日本小児東洋医学会 元会長

齋藤 陽（はるの木こどもクリニック）

現代医学の主体は西洋薬であり、エビデンスに基づいた新薬が多数創薬され医学が格段に進歩している。しかし、西洋薬ですべての疾患、病態、症状を改善することは困難であることはご存じの通りである。漢方薬単独または西洋薬との併用により、効果的と思われる疾患（感染症、神経症、心身症など）について現在の漢方薬の立ち位置についてお話する。

略歴

1997年 聖マリアンナ医科大学卒業 同小児科学教室入局
2003年 聖マリアンナ医科大学大学院修了
2004年 新潟大学腎研究施設分子病態学分野リサーチフェロー
2006年 聖マリアンナ医科大学小児科助手
2008年 崎山武志先生に師事し聖マリアンナ医科大学漢方外来で研修開始
2010年 聖マリアンナ医科大学小児科講師
2019年 はるの木こどもクリニック院長

資格 日本小児科学会認定小児科専門医・指導医、日本東洋医学会漢方専門医

田中 宜之（コンフォガーデンクリニック）

漢方専門医としての診療と外資系製薬企業にて臨床開発業務を行う演者の視点から日本漢方の将来像を考察してみたい。今、新薬開発の効率化は著しく、凄まじい勢いで新薬が投入される西洋医学は、標治から本治へと鋭く迫りつつある。漢方診療の中に複雑化する変化の激しい西洋医学を患者の不利益がないようどう取り入れていくかは大きな課題となろう。また、西洋医学の経済毒性が漢方に及ぼす影響についても同時に触れたい。

略歴

1995年 鳥取大学医学部大学院修了（外科学）
1998年 ワシントン大学医学部（セントルイス） 外科 リサーチフェロー
2005年～現在 MSD株式会社 グローバル研究開発本部
2007年 崎山武志先生に師事し渋谷診療所にて漢方研修開始
2015年～現在 コンフォガーデンクリニック 漢方外来担当

資格 日本外科学会登録認定医、日本プライマリケア学会認定医・指導医
米国 ECFMG 認定医、日本臨床薬理学会専門医、日本東洋医学会専門医

特別講演（小児科領域講習 1 単位）

漢方薬の抗不安・抗ストレス作用の作用機序 ～加味帰脾湯を中心に～



昭和大学医学部生理学講座生体制御学部門 教授
砂川 正隆

オキシトシンは、子宮収縮や射乳などの末梢における作用だけでなく、中枢での作用として抗ストレス作用、抗不安作用、社会行動促進作用などを有することが明らかにされている。ただ、オキシトシンは血液脳関門をほとんど通らないため、全身投与しても中枢での効果は期待できない。そこで、間接的に中枢でのオキシトシンの分泌を増やすのに加味帰脾湯に着目した。

ラット急性ストレスモデルを用いて、加味帰脾湯の効果ならびに、作用機序の検討としてオキシトシンの分泌に与える影響を調べた。加味帰脾湯の前投与により、ストレス負荷中、脳脊髄液のオキシトシン濃度は有意に上昇し、ストレス負荷直後の不安様行動を調べたところ、加味帰脾湯投与群では不安行動は軽減した。またこの効果はオキシトシン受容体拮抗薬によって一部拮抗された。加味帰脾湯は抗不安・抗ストレス作用を有し、この効果はオキシトシンの分泌促進を介した作用であることが示唆された。

略歴

1996 年	昭和大学歯学部卒業
1996～2008 年	医療法人社団明徳会福岡歯科
2008～2010 年	昭和大学医学部第一生理学教室 講師
2010～2017 年	昭和大学医学部生理学講座生体制御学部門 准教授
2012～2013 年	ピッツバーグ大学医学部薬理学教室
2017 年～現在	昭和大学医学部生理学講座生体制御学部門 教授

学会

日本東洋医学会（常務理事）、日本東洋医学サミット会議（JLOM；監事）
日本歯科東洋医学会（副会長）、日本生理学会（評議員）、日本疼痛学会（代議員）
日本歯科薬物療法学会（漢方 EBM 委員）、全日本鍼灸学会、国際疼痛学会
日本ペインクリニック学会、日本医学教育学会、日本歯科医学教育学会など

MEMO

寄付・労務提供一覧

(順不同)

寄 付 聖マリアンナ医科大学同窓会（聖医会）
聖マリアンナ医科大学小児科同窓会
聖マリアンナ医科大学卓球部 OB・OG 会
株式会社ツムラ
小太郎漢方製薬株式会社
株式会社ラカリテ
税理士法人総合経営サービス

労務提供 小太郎漢方製薬株式会社
株式会社ツムラ

第 50 回日本小児東洋医学会学術集会開催にあたり、企業などの皆様には多大なるご協力を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。

第 50 回日本小児東洋医学会学術集会
会頭 齋藤 陽